

「東京都シルバーパス制度」の拡充を求める意見書

「東京都シルバーパス制度」は、都内の都電、都バス、都営地下鉄をはじめ、社団法人東京バス協会に参加する主要なバスに無料で乗車できる70歳以上の高齢者を対象とした制度であった。

多くの高齢者の社会参加を進め、生きがいの活動に利用される身近な福祉施策として1974年にスタートした。80年には所得制限による一部有料パスが導入されたが、一定所得以下の高齢者に対する無料制度として大変喜ばれてきた。

しかし、2000年10月からすべての高齢者が自己負担となる有料制度に代わってしまった。

住民税非課税者は1000円、少しでも住民税課税となると、2万510円の負担となった。かつては70歳以上の7割が利用していたシルバーパスは、2万510円の負担が重いため5割前後の人しか利用できなくなっている。多くの高齢者の社会参加の機会を保障するためにも、だれでも利用しやすい制度を作ることが求められている。

またシルバーパスは、最寄りの駅に行くバスが都県境を越すと1区間であっても料金が発生するため、せっかくの制度でありながら、利用者に不便が生じている。町田市は、相模原市、横浜市と近接しているため多くの市民から都県境を越えても無料でバスに乗れるようにしてほしいとの要望が寄せられている。

記

- 1、 「東京都シルバーパス制度」における住民税課税者の負担を軽減するため、3000円、5000円パスを導入すること。
- 2、 都県境を越えてもシルバーパスを使えるようにすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。